

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合やお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 身体抑制が消化器外科術後患者の転帰に与える影響

[研究責任者] 長崎医療センター 看護部 北村 汐里

[研究の背景]

手術侵襲によるストレス反応や炎症反応は、術後合併症を引き起こす可能性があり、その一つに術後せん妄（POD）や術後認知機能障害（POCD）があります。POD は術後急性期に発生し、患者の予後に重大な影響を与える可能性があります。また、POD の発生は POCD のリスクを高めるため、急性期の適切な介入が重要です。POD 患者の治療やケアの困難さから、身体抑制が行われることが多いですが、身体抑制は患者の尊厳を損ない、皮膚損傷や神経損傷、死亡リスクの増加などの身体的問題を引き起こします。身体抑制の影響に関する研究は集中治療室や精神科領域での報告が多く、消化器外科患者への影響は明らかになっていません。そこで本研究では、消化器外科術後患者における身体抑制の影響を明らかにし、適切な介入方法の検討に寄与することを目的としています。

[研究の目的]

身体抑制が消化器外科術後患者の転帰にどのように影響しているのかを調査します。また、患者の転帰に影響を与える他の因子も調査することで、消化器外科患者への適切な介入方法を検討するための示唆を得ます。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2024 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までの期間に、長崎医療センターで消化器外科手術を受け、その後消化器外科病棟に入室した方

●研究期間：東京医療保健大学学長及び長崎医療センター院長の研究許可日～2026 年 3 月 1 日

●利用するカルテ情報

カルテ情報：

☑年齢	☑性別	☑既往歴	☑手術前の Performance Status
☑ Brinkman Index	☑主病名	☑TNM 分類	☑内服歴
☑術後の転帰（死亡、自宅退院、転院）			
☑術後在院日数			
☑術後の集中治療室での滞在期間			
☑術後合併症			
☑術後の食事開始日			
☑術後の離床開始日			

☐ 身体抑制有無と種類 ☐ 身体抑制の使用期間
☐ 術中合併症の有無 ☐ 術式 ☐ 手術時間（分） ☐ 出血量（ml） ☐ 挿入されている腹部ドレーンの本数
☐ 睡眠薬の使用期間 ☐ 鎮痛薬定時内服以外で追加の鎮痛薬使用の使用期間 ☐ 術後当日の Numerical Rating Scale（以下 NRS とする） ☐ オピオイドの使用期間

●情報の管理

この研究は、東京医療保健大学（学長 亀山周二）の研究です。個人を判別できるような情報を削除した上で、東京医療保健大学で解析されます。

[個人情報の取扱い]

研究に利用する個人情報は、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対照表を当院の研究責任者が作成し、診療情報との照合などの目的に使用します。対照表は、情報管理者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

ご自身の試料や情報を研究に使わないでほしいと希望されている方も、下記の連絡先までご連絡ください。なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても、国立病院機構長崎医療センターにおける診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益を被ることはありません。

[問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター 臨床研究センター

看護師 北村 汐里

住所：長崎県大村市久原2丁目 1001-1

TEL：0957-52-3121（代表）